

ルーブリックをつくらう

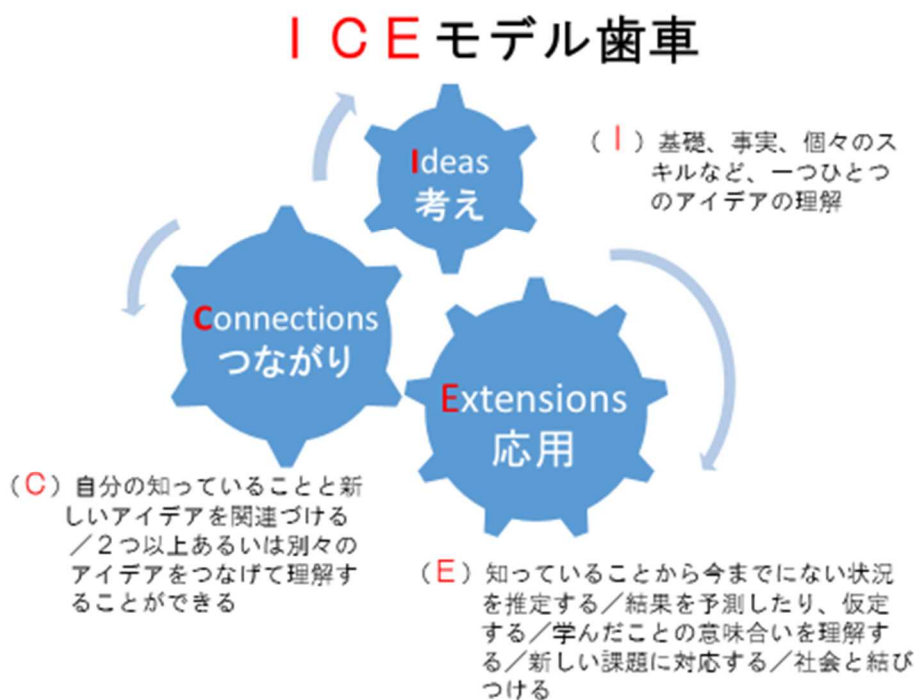
ルーブリックとは

評価基準表のことで、どこまで到達できたかの絶対評価を行うための「ものさし」です。テスト形式での方法では評価が難しい「技能」や「思考力」「取り組む姿勢」などを評価することができます。

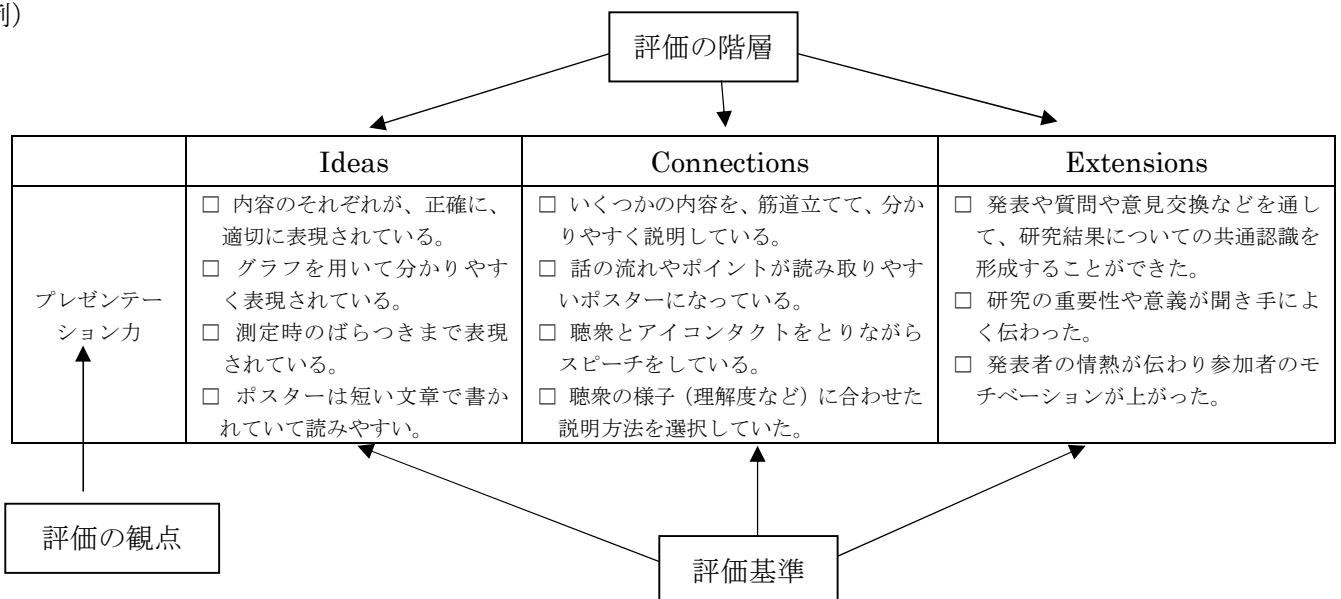
ルーブリックを使用することで「今自分がどの項目をどれくらいできているのか？」という自己評価を実施しやすくなり、このような自己評価をすることで、内省の習慣や自身を客観的に見つめる力を高める機会を作ることができます。また、ルーブリックを通して良い研究とは何かが明確になれば、研究に対する意欲の向上や研究をスムーズに進めることも期待できます。

ICEモデルルーブリックとは

I (アイデア, 基礎知識), C (コネクション, つながり, 関連づけ), E (エクステンション, 応用, 実践) の頭文字を取って, ICE (アイス) と呼び, 評価を三つの領域で捉えようとする考え方は。



(例)



ループリックを作る（2時間）の進め方

【1時間目の内容】

1 概要説明（15分）

- (1) 2年課題研究の概要（年間スケジュール、注意点など）
- (2) ループリック作成の目的
 - ・ループリックを作ることで何に気をつけて取り組むべきかがよく分かります。
 - ・自分の活動がうまくいっているかどうかを自分で評価する力が付きます。
- (3) ループリック作成の流れ
 - ・振り返りシートから気づいた点を拾い出します。
 - ・それを整理して、討論しながら何が大切かをまとめます。
 - ・自分たちを評価するための基準（目標）を文章化します。

2 ループリック作成作業（35分）

- (1) 1年課題研究全体発表会で作成した振り返りシートをもとに気付いた点を拾い出します。
※振り返りシートは発表会を見て書きましたが、作成するループリックは課題研究全般のものとしします。
各自で振り返りシートの内容を課題研究全般について読み替えて進めて下さい。
 - ・良い点や悪い点を全て書き出します（1枚の付箋には1つだけ書くようにします。）。
 - ・思い出したことや加えた方がよいことがあれば書き足して下さい。
 - ・他の人と相談しながら進めます。
 - (2) 付箋を分類します。
 - ・同じ内容の付箋どうしは重ねて1山にします。
 - ・できた付箋の山を元に、どのような事が大切と考えられるかをまとめてください。
 - ・まとめた付箋を、指定した観点（課題設定、論理性、プレゼンテーション力）とその他のものに分けます。
 - (3) 各観点の付箋の山を、I(Ideas)、C(Connections)、E(Extensions)の段階に分けていきます。
 - ※Iは1つの事実・考え・技術に関するもの
 - Cは2つ以上のIdeasをつなげて考えることに関するもの
 - EはIdeasやConnectionsを応用して新しい考えを創り出すことに関するもの
 - ・I、C、Eはどれも重要です（どれがより高度ということではありません）。
 - ・I、C、Eの段階に入る付箋がない場合は、ここで考えて付け足して下さい。
 - ・作業の段階で、この考えが必要というものを思いついたら、付箋を付け足して下さい。
- #### 3 評価基準（文章）の作成（15分）
- ・悪い点、良い点、気づいた点などの付箋の山を、評価基準にふさわしい文章で表現します。
 - ・その文章を付箋に書いて、付箋の山の一番上に張っていきます。

【2時間目の内容】

- 1 評価基準としての文章作り（1時間目の3の続き）（10分）
 - ・全てを文章化して表現のバランスを取ります（ループリック（案）の完成）。
- 2 ループリックの清書（10分）
 - ・できたループリック（案）を清書します。
 - ・この際、各記述文の文頭に、各自が研究時にチェックできるように、□を付け加えて下さい。
- 3 各班のループリック（案）の発表。（35分）
 - ・各班3分でループリック案を説明します。
- 4 ループリックの修正（5分）
 - ・他班の発表を聞いてループリックを修正して完成させます。
- 5 アンケート記入（5分）

※完成したループリックとアンケートは、課題研究の担当教員まで、係が集めて提出して下さい。

年 月 日作成

観点	Ideas	Connections	Extensions
課題や仮説の 立て方 (課題設定)			
検証や考察 内容の信頼性 (論理性)			
内容の示し方 (プレゼンテ ーション力)			
その他			

2年()組()班 班員氏名()